



エコアクション 21

環境経営レポート

2024 年度

2024.4-2025.3

(作成日：2025 年 6 月 20 日)



®環境省

エコアクション21

認証番号 0003386

株式会社 第一産業

目次

〔1〕 対象範囲	3
〔2〕 組織の概要	3
〔3〕 環境管理実施体制図及び実施体制	4・5
〔4〕 環境経営方針	6
〔5〕 環境経営目標	7
〔6〕 環境経営計画	8
〔7〕 環境経営目標の実績	9
〔8〕 環境経営計画の取組結果とその評価	10
〔9〕 環境関連法規等の遵守状況の 確認及び評価の結果、並びに違反、 訴訟等の有無	11
〔10〕 代表者による全体評価と 見直しの結果	12

1. 対象範囲

認証・登録事業者 株式会社第一産業
東京都板橋区成増1-7-21
認証・登録の対象活動範囲 包装資材及び諸資材の企画、設計（提案）、制作
販売
対象事業所 本社
和光倉庫
全組織・全活動を認証・登録の対象範囲をする

2. 組織の概要

事業社名及び代表者名

株式会社第一産業
代表取締役 磯崎 孝

所在地

東京都板橋区成増1丁目7番21号
TEL 03-3938-7711
FAX 03-3938-7720

環境管理責任者氏名及び連絡先

石垣 菜奈 TEL 03-3938-7711

事業内容 包装資材及び諸資材の企画、設計（提案）、制作、販売

事業の規模

資本金 28,000千円
創立年月日 昭和31年11月29日
売上高 12億4339万円
従業員 18名（内、和光倉庫2名）

本社

所在地

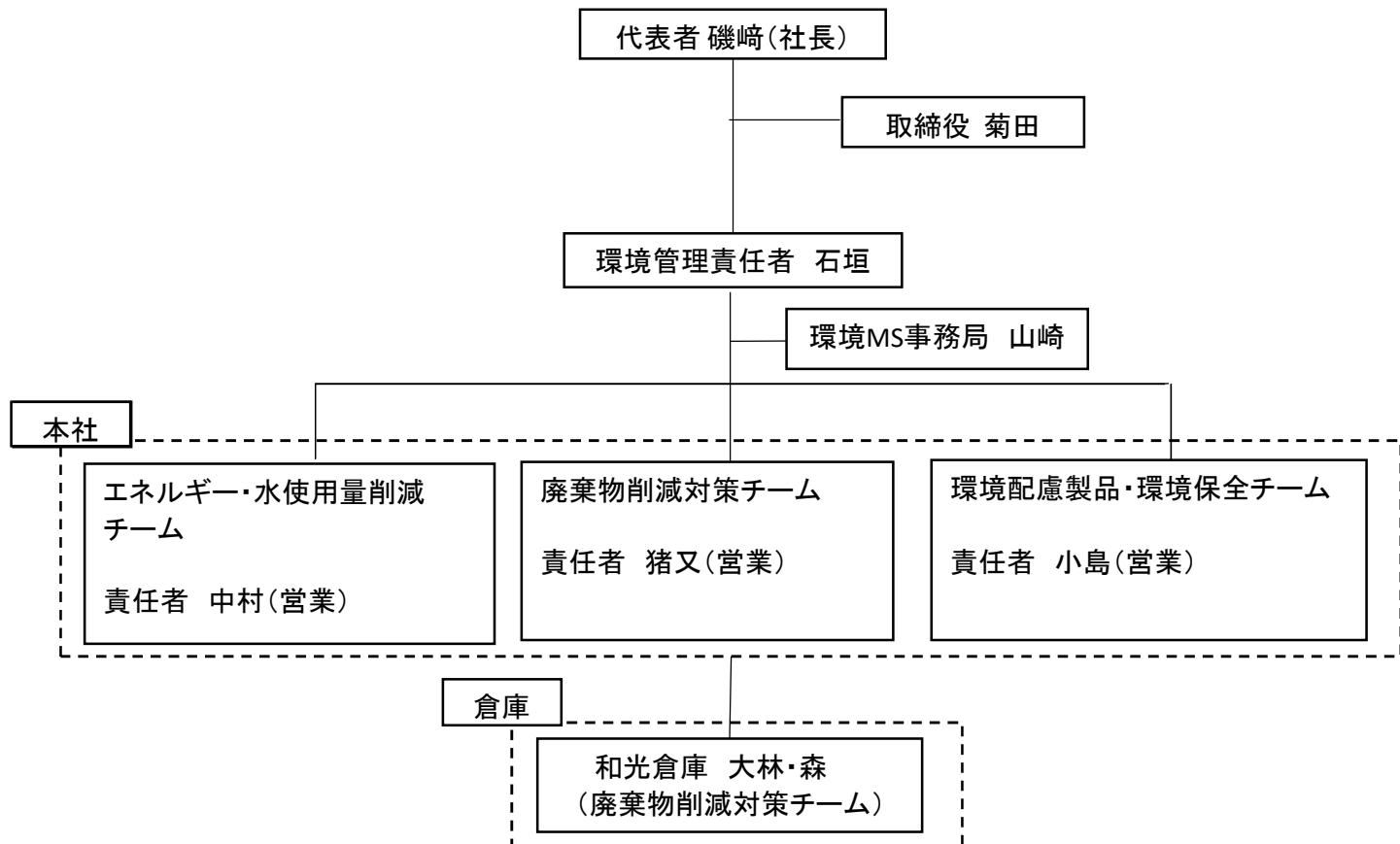
東京都板橋区成増1丁目7番21号
延床面積 853.75 m² (内、和光倉庫 476.00 m²)
敷地面積 667.64 m² (内、和光倉庫 441.07 m²)

和光倉庫

所在地

埼玉県和光市南1丁目13番5号（和光倉庫）

3. 環境管理実施体制図及び実施体制



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を策定する ・環境管理責任者を任命する ・代表者による全体の評価と見直し ・環境目標の承認 ・経営における課題とチャンスの整理と明確化
取締役	<ul style="list-style-type: none"> ・社長と連携 必要があれば社長の代行を行う
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムを構築、運用、維持し状況等を報告する ・外部からの苦情等の受付や対応 ・緊急事態への対応 ・環境目標、活動計画の作成 ・承認を得た上で実施を支持する ・法令等の遵守状況の確認をMS事務局に指示、結果の報告を受け必要に応じて各部門に指示する ・法令等の遵守状況の確認結果を代表者に報告する
環境MS事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者から、必要に応じて支持を受け、環境関連文書及び記録の作成、管理等 ・環境目標、活動計画の達成状況及び実施状況の確認 ・環境管理責任者の指示を受けて、法令等の遵守状況を各部門と協力し結果を報告する ・環境活動レポートの作成
各担当責任者 (和光倉庫を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの担当を収集して環境目標の素案及び環境活動計画 ・承認を得た環境目標及び環境活動計画を実施する ・問題発生時並びに問題の発生が予見された場合、環境管理責任者への報告・連絡・相談をする
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針、環境目標、活動計画への理解並びに実行 ・日常業務に対する個人個人の責任を自覚してEMS活動に取組む ・問題発生時並びに問題の発生が予見された場合、担当責任者への報告・連絡・相談をする

環境経営活動計画等実施内容

2024年度(2024/4~2025/3)

2025年6月20日

環境経営活動計画		具体的な施策	期間	担当
事業活動及び、製品に係わる環境負荷を低減する		①個装の形態を変更し簡素化・小型化を行う	製品の簡素化やコストダウンの提案を行う	通年 環境配慮製品・環境保全チーム
		②製品を包装梱包する資材の削減	梱包形態の変更等による輸送コスト削減の提案を行う	通年 環境配慮製品・環境保全チーム
		③不良品を出さない工夫をする	社内管理データを常に更新し、得意先との情報共有に努め発注ミスを防ぐ	通年 環境配慮製品・環境保全チーム
		④商品知識を高める	展示会へ参加し環境対応商品の知識を高める	通年 環境配慮製品・環境保全チーム
		⑤使用製品の素材管理	仕入先講習、インターネット等、常に新しい情報を取り入れ得意先との情報共有を図る	通年 環境配慮製品・環境保全チーム
起二 源酸 エ化 ネ炭 ル素 ギ排 出使 用削 量減 の削 電力 使 用 量 及 び 石 油	電気使用量の削減	①エアコンの適正温度管理	窓際の温度差を無くす断熱シートや遮光カーテンを設置する	通年 エネルギー水使用量削減チーム
		②電気使用時の削減	無駄な電気を消す様心掛ける	通年 エネルギー水使用量削減チーム
		③省エネ設定の推進	定期的にエアコンフィルターの清掃をし、節電効果を上げるようにする	通年 エネルギー水使用量削減チーム
	ガス使用量の削減	①ガスストーブの適正温度の管理	適正温度管理の徹底	通年 エネルギー水使用量削減チーム
		②不要なガス使用の削減	ガスストーブ、給湯器の適正使用	通年 エネルギー水使用量削減チーム
	ガソリン使用量の削減	①車両整備の実施	エコカーチェンジを行なう為の情報収集	通年 エネルギー水使用量削減チーム
		②エコドライブの実施	効率の良いルートで周れる様、事前準備を行う	通年 エネルギー水使用量削減チーム
	水使用量の削減	①設備の節水対応	設備の点検、不備が有った場合の早急な対応	通年 エネルギー水使用量削減チーム
		②トイレ水の適正使用	適正使用を心掛け、設備の点検を行う	通年 エネルギー水使用量削減チーム
廃棄物の削減	①一般ゴミ・ペットボトルリサイクルの向上	引き続き分別リサイクルは行なっていき、新たなSDGsに関する情報が有ったら共有していく	通年 廃棄物削減チーム	
	②カーボンリッジ等は回収リサイクルする	リサイクルする事は徹底出来ているので、今後は無駄にプリントアウトしない様に周知していく	通年 廃棄物削減チーム	
	③使い捨て製品の購入・使用は出来るだけ削減する	引き続きエコロジー製品を選択し購入していく	通年 廃棄物削減チーム	
	④紙資源の削減	印刷が必要な文書と必要無い文書を選別していく、資源の無駄をなくしていく	通年 廃棄物削減チーム	
環境保全意識の向上	①社会貢献活動	・ペットボトルリサイクル回収 ・AED管理を行う	通年 全要員	
	②環境保全の意識向上と活動を進める	各チームが講師になり、研修を行う	通年 全要員	
	③社内の整理整頓	サンプル等デスク周りを整理整頓する	通年 全要員	

4. 環境経営方針

1. 基本理念

当社は創業以来、包装梱包に関する仕事を社業としてきました。現在は「包装資材及び諸資材の企画設計（提案）による制作販売」を中心に事業を展開し、製品・サービスを通じて社会に貢献することを目指しています。

2. 基本方針

当社は、企業活動のあらゆる面において環境保全の推進に努め、持続可能な社会の実現に寄与します。その中で、経営における環境課題と機会を整理・明確化し、事業戦略に反映させることで、環境価値の創出に取り組みます。

- ① 事業活動及び製品に係わる環境負荷を低減し、省エネ啓発活動等を通じて環境貢献に努める
- ② 二酸化炭素排出量、電力使用量、石油起源エネルギー使用量の削減
- ③ 水資源の使用量削減
- ④ 廃棄物の削減
- ⑤ 従業員の環境意識の向上を推進

3. 法令遵守

環境に関する法的 requirement 事項及び当社が同意するその他の要求事項を確実に遵守し、環境保全に努めます。

4. 社内浸透と実践

社内会議や打ち合わせ等を通じて、環境経営方針および環境経営目標を全従業員に周知し、確実な実行を図ります。

5. 繼続的改善と戦略的対応

経営環境の変化を踏まえ、継続的な改善を推進するとともに、環境に関する課題とチャンスを適切に評価し、経営戦略へ反映させます。

2025年3月31日
株式会社 第一産業
代表取締役 磯崎 孝

5. 環境経営目標

基準年 (2017年)	排出係数	2023年度 基準年比-1.5%	2024年度 基準年比-1.5%	2025年度 基準年比-1.5%
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂) (56,200)	0.451kg-CO ₂ /kWh	55,357	55,357	55,357
電気使用量の削減(kWh) (21,704)		21,378	21,378	21,378
都市ガス使用量の削減(m ³) (723)	2.16kg-CO ₂ /m ³	712	712	712
ガソリン使用量(L) (19,416)	2.32kg-CO ₂ /L	19,125	19,125	19,125
水使用量(m ³) (維持管理) (227)		227	227	227
紙資源の削減(kg) (640)※		790	790	790
産業廃棄物の削減(kg) (維持管理) (1,000)		1,000	1,000	1,000

電力の CO₂ 排出係数は、東京電力(令和 1 年度実績)調整後排出係数 0.451kg-CO₂/kWh を使用した。

※紙資源の目標に関しては、昨年現実と目標値に格差があり見直しをした為増加した。但し今後は経過を見ながら設定を変更する。

6. 環境経営計画

1. 事業活動および製品に係る環境負荷の低減

- ・ 製品の簡素化およびコストダウンの提案を推進する
- ・ 梱包形態の見直しにより、輸送コストの削減を図る
- ・ 社内管理データを常時更新し、得意先と情報を共有することで発注ミスの防止に努める
- ・ 展示会への参加を通じて、環境対応商品の知識を向上させる
- ・ 仕入先講習やインターネット等を活用し、最新情報を得意先と共有する

2. 二酸化炭素排出量・電力およびエネルギー使用量・水資源の削減

- ・ 不要な電気の消灯を徹底する
- ・ 定期的なエアコンフィルターの清掃により、節電効果を高める
- ・ 適正温度管理の徹底を図る
- ・ ガスストーブ・給湯器の適切な使用を心がける
- ・ エコカー導入に向けた情報収集を行う
- ・ 効率的なルート選定のため、事前準備を実施する

3. 水使用量の削減

- ・ 設備の定期点検を実施し、不備が発見された場合は速やかに対応する
- ・ 適正使用を徹底し、水資源の浪費防止に努める

4. 廃棄物の削減

- ・ 引き続き分別・リサイクルを徹底するとともに、SDGs 関連情報の収集・共有を推進する
- ・ 不要な印刷を控えるよう社内に周知する
- ・ エコロジー製品の優先的な選定・購入を継続する

5. 紙資源の削減

- ・ 印刷が必要な文書と不要な文書を選別し、紙資源の無駄を防ぐ

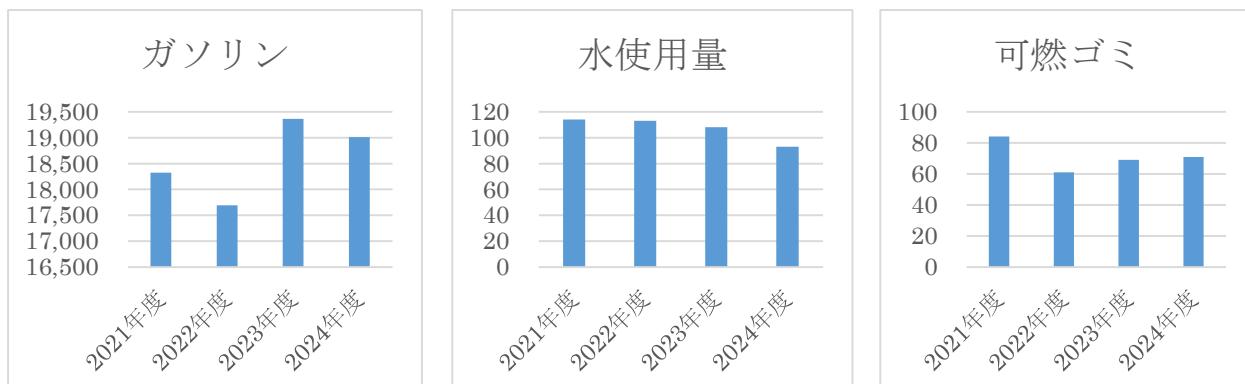
6. 環境保全意識の向上

- ・ ペットボトルの回収および AED の適切な管理を継続する
- ・ 次年度も環境関連研修を実施し、社員の意識向上を図る
- ・ デスク周辺の整理整頓を徹底する
- ・ 会社周辺の美化活動に取り組む

7. 環境経営目標の実績

	単位	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 目標	2024年度 実績	評 価	増 減 率 %	
		2022.4～ 2023.3	2023.4～ 2024.3	2024.4～ 2025.3	2024.4～ 2025.3			
温室効果ガス排出量	kg-C O ₂	50,710	54,099	55,357	54,278	○	-1.9	
総エネルギー投入量	購入電力	kWh	19,855	18,782	21,378	20,751	○	-2.9
	都市ガス	m ³	412	325	712	378	○	-46.9
	ガソリン	L	17,691	19,364	19,125	19,010	○	-0.6
水資源	上水道	m ³	113	108	227	93	○	-59.0
廃棄物等総排出量	可燃ごみ	kg	128.1	144.9	212.1	149.1	○	-29.7
	不燃ごみ	kg	27.3	58.8	25.2	65.1	×	158.3
	産業廃棄物	t	0.48	1.09	1.00	0.97	○	-0.3
排出量	下水道	m ³	113	109	227	91	○	-59.9
資源投入量	事務用コピー用紙等	kg	790	790	790	384	○	-51.3

電力の CO₂ 排出係数は、東京電力(令和 1 年度実績)調整後排出係数 0.451kg-CO₂/kWh を使用した。



8. 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

環境経営目標	具体的取組内容	担当		結果・評価	次年度への取組
事業計画及び製品に係わる環境負荷を低減する	製品の簡素化・コストダウンの提案	環境配慮チーム	小島	目標達成。昨年度はISO取得により、発注ミスの再発防止・情報共有など、より徹底して行われる様になった。	取組内容の継続
	輸送コスト削減の提案				
	社内情報共有による発注ミス防止				
	環境対応商品の知識向上				
	取引先との情報共有				
環境保全意識の向上	社会貢献活動	環境配慮チーム	小島	目標達成。AEDのバッテリー交換を行なった。	取組内容の継続
	環境保全の意識向上				
	社内の整理・清掃の徹底				
二酸化炭素排出の削減、電力使用量及び石油起源エネルギー使用量の削減	車両点検整備の徹底	エネルギー・水削減チーム	中村	目標達成。社用車を2台ハイブリッドカーへ買い替え、燃料消費を抑えられた。室内温度計をチェックし、適正な温度管理を行っていた。	取組内容の継続
	エコドライブの徹底				
	適正な室内温度管理				
	空調機器メンテナンスによる節電効果の向上				
	ガス機器の適正使用				
水使用量の削減	節水意識向上	エネルギー・水削減チーム	中村	目標達成。従業員全員が意識を高く持つて、取り組んでいる。	取組内容の継続
	設備点検				
廃棄物の削減	廃棄物分別の徹底	廃棄物削減チーム	猪又	一部目標未達成。備品購入の際の梱包材の廃棄で一時的に増えた。その他は文書電子化により紙使用量をかなり減らすことが出来た。	取組内容の継続
	電子文書化による紙使用削減				
	紙類・段ボールのリサイクルの徹底				

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

株式会社第一産業

実施確認及び評価日

2025年6月20日

法規制	遵守事項	状況・規制値及び測定器	管理方法	担当	評価	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 東京都環境確保条例	①委託契約	・締結	期限常時	廃棄物削減チーム	○	①収集運搬、中間処分
	②マニュフェスト管理	・専用ファイルに保存管理	期限常時		○	②専用ファイルに保存
	③廃棄物表示管理	・廃棄物表示、管理	期限常時		○	③廃棄物表示
	④廃棄物分別管理	・廃棄物分別、管理	期限常時		○	④廃棄物分別
	産業廃棄物排出量の届出(埼玉県へ提出)	・指定様式	期限常時	MS事務局	○	埼玉県提出
PRTR法	適正化学物質管理	EU RoHS指令等 MSDS入手	要求の都度	環境配慮チーム	○	遵守した
容器包装リサイクル法	①取引先より注文や見積時に紙製品(ダンボール等)及び化成品等を無駄のないように設計する	・研修会等で再生容器の知識を高める	期限常時	環境配慮チーム	○	①製品にあった設計を実行している
	②繰り返し使える容器を提案する		期限常時		○	②リサイクルし易い素材の提案に努めている
自動車リサイクル法	①自動車の長期利用	・車検等による検査	期限常時	エネルギー水削減チーム	○	①車検等検査にて長期利用を続行
	②使用済み自動車の引渡し	・故障箇所の点検	期限常時		○	②使用済み自動車は新車購入時下取り
	③再資源化促進 引渡し業者へ	・リサイクル料の負担	期限常時		○	③廃車の時はリサイクル負担
消防法	・火災予防条例	・消防器具の設置	消防器具の点検	環境配慮チーム	○	①消火器を設置している ②火災報知機を設置している
労働安全衛生法	・健康診断の実施	・従業員全体の健康診断の結果により指導する	年1回	代表者	○	年1回実施
	・ストレスチェック	・チェックテストを用い把握する	3か月に1回		○	各自実施
	・熱中症予防対策	・環境管理、健康管理、労働衛生教育	常時監視		○	各自実施
小型家電リサイクル法	・OA機器(パソコン・ファックス・コピー機器等)冷蔵庫・エアコン等は排出の際適正処理する	・買い換えの時は購入業者へ廃棄の時は東京都或いは藤ビルメンテナンスにて処理をする	期限処理発生時	廃棄物削減チーム	○	リサイクル業者にて引取
グリーン購入法	物品購入時はできる限り環境物品等の選択に努める	・特にない	購入都度	廃棄物削減チーム	○	・積極的に購入している
フロン排出抑制法	・簡易点検	・点検の記録	四半期ごと	事務局	○	・年4回実施 点検記録表
アルコールチェック	・アルコール検知器を用いて運転者の酒気帯び及び有無の確認を行う	・アルコールチェックカードと管理表	常時監視	事務局	○	・各自実施 点検記録表
板橋区事業系一般廃棄物の処理	板橋区長が許可した一般廃棄物処理業者への処理委託	・適正な分別	期限常時	廃棄物削減チーム	○	適正処理と費用
都民の健康と安全を確保する環境に関する条例	・アイドリングストップ	・駐車場にアイドリングストップ表示・駐車時エンジン停止	常時監視	エネルギー水削減チーム	○	①駐車場のアイドリングストップの表示 ②駐車時にエンジン停止続行、取引先に監視お願い続行、全従業員に各自注意する
	・エコドライブ	・適切な運転及び適正な管理	常時監視		○	③エコドライブを心がけている
エコポリス板橋クリーン条例	・事業者の責務として、環境に配慮した事業活動を行い、区が実施する環境保全に関する施策や、環境美化に関する施策に協力しなければならない	・特にない	期限常時監視	廃棄物削減チーム	○	・廃棄物の削減 ・喫煙所の廃止
和光市環境基本条例	・事業者の責務として、市が定める環境理念に則り事業活動を行うこと			廃棄物削減チーム		
	・事業活動を行うに当たっては、公害の発生を防止し、廃棄物を適正に処理する事。	・特にない				
	・再生資源その他の環境への負荷の低減に資する原材料、役務等を利用するように努めなければならない					
違反・訴訟の有無	環境関連法規及び条例への違反は有りません。なお、関係機関より違反等の指摘、訴訟は過去3年間ありません。					

※最新性の確認は、毎年6月に確認をする

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表取締役：磯崎 孝
2025年6月20日

○2024年度の評価

廃棄物（不燃ごみ）の排出量以外、目標値はクリアしているが、前年比で見ると、電気・ガスなどの数値が上がっている。原因としては、不燃ごみの増加はパソコンなどの備品購入の際の、梱包材の廃棄によるものが多い。電気・ガスについては、退職者の補充が進まず、在職社員の業務負担が増え、残業時の空調設備の使用による増加となっている。上記2点は大きな反省点であるが、資源投入量に関しては前年から取り組んでいる文書の電子化が進み、例年より大幅に減らす事ができた事は評価したい。

○2025年度の取組について

引き続き、全従業員の意識向上に努め、企業としては環境保全のためにも、労働環境を整える努力をしていきたい。

見直しの結果

- ・環境経営方針 : 変更の必要性 無し
- ・環境経営目標及び計画 : 変更の必要性 無し
- ・実施体制 : 変更の必要性 無し